

2025年11月5日

各 位

会 社 名 不二ラテックス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 近藤 安弘
 (コード : 5199 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役上席執行役員
 管理本部長 金原 辰弥
 (TEL 03-3293-5686)

2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

2025年5月15日に公表いたしました 2026年3月期第2四半期（中間期）（2025年4月1日～2025年9月30日）の業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）通期業績予想数値と実績値との差異

(1) 連結業績予想数値と実績値との差異（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,590	百万円 249	百万円 210	百万円 96	円 銭 75.73
今回実績(B)	3,425	248	214	37	29.61
増減額(B-A)	△164	△0	4	△58	
増減率(%)	△4.6	△0.2	2.2	△60.9	
(ご参考) 前期中間期実績	3,639	134	119	58	45.82

(2) 個別業績予想数値と実績値との差異（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売上高	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,530	百万円 212	百万円 99	円 銭 78.09
今回実績(B)	3,383	221	42	33.63
増減額(B-A)	△146	9	△56	
増減率(%)	△4.1	4.5	△56.9	
(ご参考) 前期中間期実績	3,574	120	60	47.68

(3) 差異の理由

2026年3月期中間連結会計期間の業績につきましては、主力事業である精密機器事業が好調に推移した一方で、医療機器事業における製品コンドームの製造停止に伴う売上減少分を他の製品等の売上により補完できなかったことと、S P事業の売上不振の影響により、連結売上高は業績予想対比で4.6%の減収となりました。

連結営業利益は、売上減少が減益要因となったものの、相対的に利益率の高い精密機器事業の全社売上高に占める構成比が上昇したことによる売上総利益率上昇の寄与もあり、ほぼ予想通りの水準となりました。

連結経常利益は、当初予想よりも営業外費用が低水準となつたこともあり、業績予想比で4百万円の増益となりました。

一方、親会社株主に帰属する中間純利益は、栃木工場閉鎖に伴う土地の減損損失を含む156百万円を特別損失として計上しましたが、損失計上額が事前の想定よりも増加したことにより、業績予想比で58百万円の減益となりました。

個別の業績につきましても連結と同様の理由によるものです。

2. 今後の見通し

2026年3月期の通期業績予想につきましては、本件以外の要因を含めて、適正かつ合理的に算定することができ次第、修正を公表いたします。

以上